



寒や厳ついても、毅然と稽古

1月10日、上ノ国空手道少年団による毎年恒例の寒稽古が行われ、幼児から大人まで約20名が参加し、新年の門出に心身を引き締めました。

寒稽古は、上ノ国八幡宮にて無病息災を祈った後、海岸まで移動しての稽古となります。

この日は、最高気温が氷点下となるなど、ここ数年の寒稽古で一番の冷え込みとなり、あまりの寒さに浜辺で子どもが泣き出すほどの厳しい環境となりました。

しかし、一度も中止されたことがないという伝統のとおり、少年団は一丸となって稽古を始め、最初は泣いていた子どもも先輩達の姿を見て最後まで立派に稽古をやり遂げました。

年の初めに心身を引き締める



1月4日、上ノ国町消防団（飛鳥正人団長）による出初式が町民体育館にて行われ、町内全9分団と婦人防火クラブあわせて約110名が参加しました。

本町では昨年、3件の火災があり、消防団は消防職員とともに現場で消火活動にあたっていきます。

こうした危険と隣り合わせの活動であることから、団長の挨拶では、今年も火災を発生させない減災・防災に努めることを第一とし、いざ発生した場合は地域と連携して的確に対処できるよう、気を引き締めて臨まなければならぬとの言葉がありました。

健康の秘訣は笑顔
楽しい教室で健康増進

1月20日、冬季間に頭と体を動かして健康増進することを目的とした遊々教室が、健康づくりセンターで開催されました。

この教室は、65歳以上の方を対象として開催されているもので、寒さが厳しい季節ではありますが、送迎バスも運行していることから、この日は海岸方面から22名が参加しました。

参加された方々は、仲間と体操やゲームなどをしながら健康づくりができるこの教室を楽しみにしていた様子で、今後も継続して参加したいとの話もありました。遊々教室は2月にも開催される予定です。お気軽にお越しください。



手作りキャンドルが
クリスマスイルミネーションを彩る



12月24日、道の駅もんじゅ前の坂道が、約100本の手作りワックスキャンドルで照らされました。

これは、上ノ国町商工会青年部などで構成されるエゾ地の火まつり幹事会（小林豊会長）が主催しているイベントで、3年目となる今年も家族連れや若者など、約80名の方が会場を訪れ、キャンドルを飾り付けながら記念撮影などを楽しんでいました。

坂道のキャンドルを上から眺めると、夜の暗闇に二筋の光の流れを見るのができ、クリスマスイルミネーションの夜を彩る幻想的な光景が広がっていました。